

(5) 全員と短時間でも話し合うことにより、よりよい人間関係をつくる。

3. 期間・場所

(1) 期間 ○月○日～○月○日 (期間中は校内会議等行事は一切もたない) なお、短縮授業による時間的な配慮も考えられる。

(2) 場所 学年・学級ごとに場所を明示する。

(3) その他 期間中実施を原則とするが、やむを得ずできない時は、期間後実施し、全員と面接すること。

4. 留意事項

(1) 最初の出会いを大切にすること。

話しやすい雰囲気づくり、親しみのある態度。

(2) 子供の抵抗感を素直に受容すること。

あせらず、ゆとりをもって、子供の言葉のくり返しを。

(3) 感情の明確化を図ること。

子供の言葉で、あるいは、それに近い言葉を使って確認する。
沈黙も言葉であることへの理解。

(4) 事実在即して考えるように援助すること。

問題の本質につながるような事実の選択。

(5) 終わりの段階、まとめを重視すること。

まとめ、次回へのつながり。

(2) 子供へ配布した「チラシ」

面 接 に つ い て

1. 面接を受ける人に

(1) 全員面接をするので、時間が少ないということを知っておいてください。

(2) 何を相談するかを前もって考えておいて、時間を大切に使いましょう。

(3) あなたが話したことは、決してだれにも話しませんから、安心して